

観 点	ね ら い	内 容	資 料	指 導 上 の 留 意 点	中 学 校 と の 関 連	選 択 科 目 と の 関 連
資源・エネルギー問題（4時間）	<p>らみた南北問題に 着目させる。</p>	<p>石油の移動 (3) 巨資本による石油 開発 (4) 石油流通機構の変化 展 開 例 (3)</p> <p>(5) 資源ナショナリズム の台頭 (6) 資源ナショナリズム と国有化 (7) エネルギー資源から みた南北問題</p>	<p>『石油文明と人間』(農文協文化 部 P70～73)</p> <p>『資源ナショナ リズム』(西川潤 著 ダイヤマモンド 社)</p>	<p>習を通してすすめる。 。 生産地の偏在と消費の 偏りに注目させる。</p> <p>。 国連での産出国の主権 の容認についてもふれる ようにする。</p>	<p>生産、貿易や輸送の問題 と関連しているの、両 者の関連を考慮して、国 民生活の安定と向上を図 る立場から国際協力の重 要性に気付かせるとも に、国土の合理的な利用 と保全について考察させ る。</p>	<p>なく、国内技術を開発す る必要性、資源、エネ ルギーや食糧の確保、自然 環境の保全などを広い視 野に立って考えさせる。 (政経) 内容(8) 国際社 会と日本 。 国際協力については、 資源ナショナリズム、人 口・食糧問題などをも通 して理解を深めさせる。</p>
	<p>。 日本の資源・ エネルギー問題に ついて理解を深め 問題解決の方向を 考えさせる。</p>	<p>3 日本の資源・エネルギ ー問題とその対応 (1) 海外に依存する資源 (2) 資源の大量消費と環 境問題 (3) 新しいエネルギー利 用の開発 (4) 資源・エネルギーの 節約</p>	<p>『新エネルギー 開発の模索』(朝 日新聞 昭和49年 1月4～11日) 『エネルギーを 考える』(藤井清 光、武安義光共著 NHKブックス P 227～229)</p>	<p>。 太陽熱、地熱などのエ ネルギー利用についても 考えさせる。 。 過剰包装、モデルチェ ンジなどを例に、省資源 ・省エネルギーを考えさ せる。</p>		